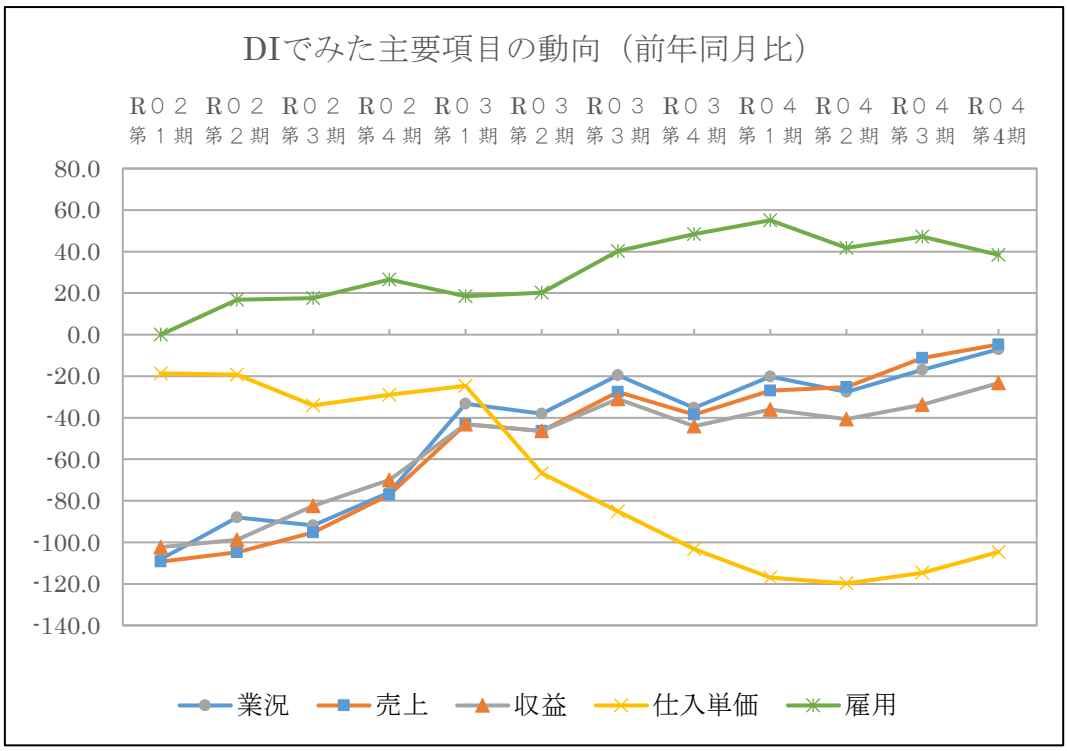
景気動向調査　令和４年度・第４期（令和５年１月～令和５年３月）

調査概要

調査対象:赤穂商工会議所管内　120社
回収:86社　　回収率:71．6%
調査対象期間:令和5年1月～令和5年3月（令和4年度・第4期）
DI値:「良い＋やや良い」と判断する事業所の割合から、「やや悪い＋悪い」と判断する事業所の割合を差引き、指数で表します。従って、売上高などの実数値を示すものではなく、強気・弱気などの景況感を意味します。

調査結果のポイント



全産業合計ＤＩ

区分	R4第3期 （R4年10月～12月）	R4第4期 （R5年1月～3月）	先行き見通し （R5年4月～6月）
業況	△16.9	△7.0	△17.4
売上	△11.2	△4.7	△15.1
収益	△33.7	△23.3	△22.1
仕入単価	△114.6	△104.7	△79.1
雇用	47.2	38.4	32.6

※雇用 DI については、数値が大きいほど人手不足感を表す

○今期の景況をみると、全産業合計の業況DIは前回調査（R4 年 3 期）に比べ 9.9 ポイント上昇の△7.0 となった。売上 DI は 6.5 ポイント上昇の△4.7、収益 DI は 10.4 ポイント上昇の△23.3 となり、また仕入単価は 9.9 ポイント上昇で△104.7、雇用 DI は 8.8 ポイント下落の 38.4 となった。

○先行き見通しについては、全産業合計の業況DIは今回調査結果（R4 年 4 期）に比べ 10.4 ポイント下降の△17.4 で、売上DIは 10.4 ポイント下降の△15.1、収益DIは 1.2 ポイント上昇の△22.1、仕入単価DIは 25.6 ポイント上昇の△79.1、雇用DI は 5.8 ポイント下降の＋32.6 となっている。

売上ＤＩ

区分	R3 第 4 期	R4 第 1 期	R4 第 2 期	R4 第 3 期	R4 第 4 期	先行き 見通し DI	先行き 期待感
全体	△38.5	△27.0	△25.3	△11.2	△4.7	△15.1	△10.4
建設業	△66.7	△73.3	△26.7	△15.4	△7.1	△42.9	△35.8
製造業	△17.9	△44.0	△12.0	4.2	0.0	8.0	8.0
卸売業	△54.5	△66.7	△50.0	△33.3	△33.3	△11.1	22.2
小売業	△63.6	△3.8	△52.0	△17.9	△16.7	△33.3	△16.6
サービス業	25.0	66.7	30.0	11.1	33.3	0.0	△33.3
不動産・ 運輸業	△28.6	△20.0	△16.7	△33.3	20.0	0.0	△20.0

○産業別の売上DIは前回調査（令和4年 3 期）と比較すると、建設業が△7.1（＋8.3 ポイント）、小売業が△16.7（＋1.2 ポイント）、サービス業が 33.3（＋22.2 ポイント）、不動産・運輸業が 20.0（＋53.3 ポイント）で改善、卸売業は△33.3 で不変、製造業が 0.0（△4.2 ポイント）で悪化となった。

また、全体の先行き見通し DI は今回調査結果（R4 年 4 期）と比較し△10.4（△15.1 ポイント）となっている。

経営上の問題点
（上位３項目）

区分	R3 第 4 期	R4 第 1 期	R4 第 2 期	R4 第 3 期	R4 第 4 期	前回調査比
売上の停滞・減少	34.1	28.1	27.5	23.6	25.6	2.0
原材料高	24.2	28.1	25.3	19.1	24.4	5.3
人手不足	18.7	18.0	16.5	20.2	16.3	△3.9

○事業所からのコメント

製造業：特定の年齢層が大幅に不足するなど課題がある。募集も積極的にかけているが、なかなか応募者がいない状態。

小売業：商品原価、エネルギーコスト、人件費などコスト up が続き、採算が悪化し厳しい経営状況

サービス業：従業員の高齢化、人手不足が年々深刻になっている。

<参考>

有効求人倍率

区分	R5.2月	R5.1月	R4.12月
一般（常用）	0.98	1.22	1.22
パート（常用）	1.41	1.48	1.41
一般+パート（全合計）	1.17	1.34	1.31